

第 2 1 章 消防本部

第 1 節 消防総務課

〔総括概要〕

組織機構改革の見直しやスリム化により、4月1日から名称を総務課から消防総務課に変更、また係を消防総務係のみとし、新組織体制で業務を行った。

消防総務課の主な分掌事務は、消防職員の人事、研修、福利厚生関係、広報広聴関係、消防事務の企画及び調整関係、消防施設の整備及び維持管理関係である。

消防職員の人事については、昭和46年の広域消防発足時に採用された職員が、平成24年度に大量退職し、更に平成25年度にも大量退職することや岩舟町との合併を考慮して、職員を適正配置し、人材育成、組織の活性化及び業務の継続性を図りながら、消防力の低下を招かぬよう組織づくりに配慮し、異動等を実施した。

職員研修については、複雑多様化する災害や救急業務など、近年の消防を取り巻く環境の変化に対応できるよう各種研修に積極的に参加し、職員の知識及び技能の向上に努めた。

職員福利厚生については、消防職員の健康増進と職場環境の向上を図るため、安全衛生推進者の養成や予防接種等を実施した。

また、消防職員委員会を開催し、職員の意見を積極的に職場に反映し、風通しのよい職場づくりに努めた。

広報業務については、市民に消防行政への理解と関心を高めてもらうため、ホームページの活用、報道機関への情報提供等、きめ細やかな広報活動を展開した。

消防施策の意思決定、その他重要な案件の審議並びに消防本部、消防署及び各消防分署の相互の連絡調整等を行い、消防行政の統一的、効率的な運営を図るため、定期的に定例幹部会議を開催した。

また、災害時の活動拠点としての役割を果たすため、消防本部、消防署及び各消防分署庁舎等の消防施設を適正に管理するとともに修繕工事等を行った。

消防総務係

1 消防職員数

(1) 階級別職員数

(単位:人)

階級 区分	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他	計
定員	階級別定員なし								195
実員	1	8	19	44	16	15	63	1	167

(2) 所属別職員数

(単位:人)

階級 所属	消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	そ の 他	計	摘 要
消防 本部	消防長	1	-	-	-	-	-	-	1	
	次長	-	1	-	-	-	-	-	1	
	消防総務課	-	1	1	4	2	1	1	11	県消防防災航空隊へ派遣1 市秘書広報課へ併任 1 市危機管理課へ併任 1 市危機管理課から併任 1
	予防課	-	1	2	2	1	-	2	8	
	警防課	-	1	2	2	-	-	-	5	県消防学校へ派遣 1
	通信指令課	-	1	1	6	2	-	-	10	
	計	1	5	6	14	5	1	3	36	
消 防 署	署長	-	1	-	-	-	-	-	1	
	副署長	-	2(2)	-	-	-	-	-	2(2)	
	消防第1課	-	-	2	7	1	5	10	25	
	消防第2課	-	-	2	7	1	5	10	25	
	大平分署	-	-	2	4	2	2	7	17	
	藤岡分署	-	-	3	4	3	1	6	17	
	都賀分署	-	-	2	4	2	-	6	14	
	西方分署	-	-	2	4	2	1	5	14	
	計	-	3(2)	13	30	11	14	44	115(2)	
研修職員	-	-	-	-	-	-	16	16	県消防学校へ入校 16	
合計	1	8(2)	19	44	16	15	63	167(2)		

※ () 内数字は兼務者数

(3) 級別職員数

(単位:人)

区分	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	小計
男	1	8	6	13	45	16	31	45	165
女	-	-	-	-	-	-	-	2	2
計	1	8	6	13	45	16	31	47	167

2 消防職員人事

(1) 職員の採用

(単位:人)

職 種	人 員	男	女
消 防	16	15	1

(2) 職員の退職 (単位:人)

消防職	14
-----	----

(3) 消防職員採用試験の実施状況

・試験実施状況

実 施 日	内 容
9月22日(日)	第一次試験(筆記試験)実施
10月23日(水)	第二次試験(体力測定)実施
10月29日(火)・30日(水)	第二次試験(面接試験)実施

・受験状況

区 分	応募者数 (人)	受験者数 (人)	最終合格者数(人)			倍率 (倍)
			男	女	計	
消 防	102	85	16	2	18	4.7

3 消防職員研修

(1) 栃木県消防学校教育訓練

期 間	研 修 科 目	参加者数(人)
4月10日(水)～9月20日(金)[113日]	初任教育(第61期)	16
9月25日(水)～10月4日(金)[8日]	特別教育水難救助科	2
9月25日(水)～10月24日(木)[21日]	専科教育救助科	2
10月7日(月)～10月21日(月)[10日]	幹部教育初級幹部科	2
10月28日(月)～12月25日(水)[41日]	専科教育救急科	13
1月14日(火)～1月20日(月)[5日]	専科教育危険物科	2
1月20日(月)～1月31日(金)[10日]	専科教育警防科	2
1月27日(月)～1月31日(金)[5日]	幹部教育中級幹部科	1
2月17日(月)～2月25日(火)[7日]	専科教育特殊災害科	2

(2) 消防大学校教育訓練

期 間	研 修 科 目	参加者数(人)
10月29日(火)～12月13日(金) [33日]	総合教育幹部科(第35期)	1

4 職員厚生

健康診断の実施状況

検 診 名	対 象 者	受診者数(人)
一般健康診断	全職員	123
胃がん検診	〃	90
肺がん検診(胸部X線撮影)	〃	101
大腸がん検診	〃	95
前立腺がん検診	50歳以上	6
人間(脳)ドック	35歳以上	42

5 広報関係

(1) ホームページ

高度情報化社会において有効な通信手段であるインターネットを利用して、消防本部の組織、各種統計、試験・講習会の案内及び応急処置方法等、消防行政に関わる情報を分かりやすく市民に周知を図り、広報活動のより一層の充実に努めた。

(2) 報道機関等への情報提供

人命救助や初期消火等の消防防災業務に対し、功績及び協力のあった方への感謝状贈呈について情報提供を行った。

6 定例幹部会

消防長が主宰し、消防施策の意思決定、その他重要な案件の審議並びに組織内の連絡調整等を行った。

開 催 日	案件数(件)	開 催 日	案件数(件)
4月1日(月)	4	10月1日(火)	4
5月1日(水)	3	11月1日(金)	4
6月3日(月)	3	12月2日(月)	4
7月1日(月)	4	1月6日(月)	5
8月1日(木)	3	2月3日(月)	3
9月2日(月)	5	3月4日(火)	3

7 消防施設の概要

(単位: m²)

区分	所在地	敷地面積	構造	1階 床面積	2階 床面積	3階 床面積	延面積
消防本部	平柳町1-34-5	1,725	鉄骨造陸屋根3階建	467	437	22	926
栃木市消防署	平柳町1-34-5	2,722	鉄筋コンクリート造 3階建	641	330	315	1,286
大平分署	大平町蔵井 2001-2	1,309	鉄筋コンクリート造 2階建	228	65		293
藤岡分署	藤岡町藤岡 81-2	1,312	鉄筋コンクリート造 2階建	266	104		370
都賀分署	都賀町大柿 1529	1,286	鉄筋コンクリート造 2階建	225	65		290
西方分署	西方町金井 293	1,371	鉄筋コンクリート造 2階建	226	63		289

8 消防施設の整備状況

(1) 主な維持補修工事

(単位: 円)

工事名	金額
栃木市消防本部通信指令室空調機修理工事	99,750
栃木市消防本部1階救急室空調機修理工事	47,040

(2) 主な業務委託

(単位: 円)

業務内容	金額
栃木市消防本部自家用電気工作物保安管理業務	143,640
栃木市消防署自家用電気工作物保安管理業務	196,308
栃木市消防本部・消防署・分署消防設備保守点検業務	52,500